

## 第3回吉備中央町原因究明委員会 議事概要

### 1 日 時

令和6年8月7日(水) 14:00 ~ 15:40

### 2 場 所

吉備中央町農村環境改善センター 多目的ホール

### 3 出席者

#### (1) 委 員 (50音順。敬称略)

小坂浩司、小松満、矢吹芳教、横山貴志子 計4名

#### (2) 事務局 (吉備中央町)

住民課長、水道課長、水道課主幹、議会事務局長

#### (3) 岡山県

環境管理課長、同課総括副参事、同課総括主幹、同課技師、同課技師  
循環型社会推進課長、同課総括主幹

<b>開 会</b>	
<b>報 告</b>	<b>第2回委員会の概要及びその後の対応</b>
資 料	資料1 第2回吉備中央町原因究明委員会の概要及びその後の対応状況
概 要	・資料に基づき、吉備中央町から説明した。 《委員意見等》 ～ な し ～
<b>議 題</b>	<b>公共用水域等の継続モニタリング結果</b>
資 料	資料2 公共用水域等の継続モニタリング結果
概 要	・資料に基づき、岡山県から説明があった。 《委員意見等》 委 員：西側沢B2の流量はどうだったか。 岡 山 県：2月より多かった。 委 員：降雨により、普段接触しない高濃度の土壌に接触し、高濃度になった可能性も考えられる。
<b>議 題</b>	<b>資材置場等の土壌及び地下水の調査結果</b>
資 料	資料3-1 資材置場等の土壌及び地下水の調査結果 資料3-2 資材置場(MW1)の地下水及び西側沢F1の同族体の解析結果
概 要	・資料3-1に基づき、吉備中央町から説明した。 ・資料3-2に基づき、岡山県から説明があった。 《委員意見等》 委 員：資材置場の暗渠と地下水位の関係はどうか。 岡 山 県：暗渠の設置深度の確かな情報がないため、暗渠と地下水位の高低差は分からない。

	<p>委員：暗渠を経由する経路と経由しない経路の両方が考えられるとの理解で良いか。</p> <p>岡山県：5月に西側沢F1を調査した際、西側沢F1周辺で他の表流水も確認しており、複数の地下水の流れがあると考えている。</p> <p>委員：MW1の地下水と西側沢F1で直鎖・分岐異性体や同族体の構成割合が類似しており、MW1から西側沢F1への地下水の移動を示すデータとなっている。</p> <p>委員：土壌中の有機物量により土壌への吸着の程度が違う。GL-4mの試料は、有機物をあまり含んでいない印象であったか。</p> <p>岡山県：土壌中の有機物量は測定していないが、GL-4mは礫が比較的多かった。</p> <p>委員：直下へ直線的には浸透せず、浸透しやすい箇所を通っていると考えられる。表層土壌の濃度が高いことから、降雨時に表層から浸透した雨水が高濃度となるが、土壌中の濃度が低い箇所は雨水が全く通過していないか、土壌中の有機物が少なかったかのどちらかではないか。</p> <p>委員：GL-4mは地下水位より上部である。水は土壌粒子が細かい箇所を通過し、粗い層は避けていく。礫が多い等、土壌粒子が粗い層は雨水が浸透していないとも考えられる。</p> <p>委員：地下水位以深の土壌は湿潤していたか。また、含水率の違いによる結果への影響はないか。</p> <p>調査会社：地下水位以深の土壌は水に触れていたため湿潤していた。地下水位より上も乾燥はしておらず湿っていたが、地下水位以深の方が含水率は高い印象であった。</p> <p>岡山県：土壌の測定では、風乾して篩った後に60gを計量するので、含水率としてはある程度統一されたものになると思う。</p>
<p>議 題</p>	<p>追加調査</p>
<p>資 料</p>	<p>資料4 原因究明に係るこれまでの調査結果</p>
<p>概 要</p>	<p>・資料に基づき、吉備中央町から説明した。</p> <p>《委員意見等》</p> <p>委員：地下水①（山王橋付近）は、河川水が地下水に混入しているという考えか。</p> <p>岡山県：河川の近くであるため、伏流水の影響と考えられる。</p> <p>委員：日山谷川の傾向と似ている印象である。</p> <p>委員 長：<u>追加調査は行わず、これまでの調査結果を踏まえ報告書を取りまとめることとしてよいか。</u></p> <p>委員：<u>～ 異議なし ～</u></p>

議 題	対策の手法
資 料	資料5 対策の手法
概 要	<p>・資料に基づき、吉備中央町から説明した。</p> <p>《委員意見等》</p> <p>委 員：資材置場の表層土壌が高濃度であることから、除去せざるを得ないと思う。資材置場への遮水壁の設置は、溜まった地下水を汲み上げて浄化することの効果も併せて、現実的ではない。</p> <p>委 員：資材置場への遮水壁の設置は、完全に流出を止められるか不明であること、また、溜まった地下水を汲み上げ浄化することが必要となるほか、生活道路として使っている道路があるため、大規模な工事は難しいと考える。</p> <p>委 員：資材置場の高濃度の土壌を深い深度まで全て除去するのが望ましいが、現実的ではない。</p> <p>委 員：現状を踏まえれば、資材置場の土壌の掘削除去と思われる。掘削除去後の新たな土壌による埋め戻しも想定しているのであれば、記載してはどうか。</p> <p>岡 山 県：報告書では、記載したい。</p> <p>委 員：西側沢F1以降の表流水の浄化は、資材置場への遮水壁の設置により完全に流出を止めるのであれば対策として考えられるが、資材置場の表層土壌を除去し、表流水の濃度を低下させることを優先すべきと考える。</p> <p><u>委 員 長：対策の手法については、現在の検討結果でまとめることとしてよいか。</u></p> <p><u>委 員：～ 異議なし ～</u></p>
議 題	報告書の構成
資 料	資料6 原因究明委員会報告書の構成(案)
概 要	<p>・資料に基づき、吉備中央町から説明した。</p> <p>《委員意見等》</p> <p>委 員：「4 原因究明」の(1)～(6)は調査内容であるので、調査内容と考察等は別立てにした方がよいのではないか。</p> <p>岡 山 県：報告書(案)作成時にご相談させていただきたい。</p> <p><u>委 員 長：報告書については、構成(案)でまとめることとしてよいか。</u></p> <p><u>委 員：～ 異議なし ～</u></p> <p><u>委 員 長：構成(案)に基づき、次回委員会までに報告書(案)を事務局で作成していただきたい。</u></p> <p>吉備中央町：原因究明及び対策の手法のとりまとめに一定の時間を要するため、第4回委員会の開催日程は、後日、調整させていただきた</p>

		<p>い。 報告書（案）のとりまとめにあたり、個別に相談させていただきたいのでご協力をお願いします。</p>
--	--	--